



2019年11月7日

各 位

会 社 名 株式会社 ニコン  
 代 表 者 代表取締役 兼 社長執行役員 兼 CEO  
 馬立 稔和  
 (コード番号 7731 東証第一部)  
 問合せ先 財務・経理本部長 奥村 徹也  
 (TEL 03-6433-3626)

## 2020年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年8月6日に公表しました連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	670,000	52,000	55,000	42,000	106.89
今回修正予想 (B)	620,000	20,000	23,000	17,000	43.26
増減額 (B-A)	△50,000	△32,000	△32,000	△25,000	-
増減率 (%)	△7.5%	△61.5%	△58.2%	△59.5%	-
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	708,660	82,653	87,915	66,513	167.86

#### 2. 業績予想修正の理由

映像事業では、第2四半期の実績は概ね計画通りに推移したものの、第3四半期以降に期初の想定より更に厳しい市場と競争環境が見込まれることから、下期の販売計画を見直し、売上収益を250億円下方修正いたします。営業利益については、売上収益減少に加えて、更なる市場縮小下でも収益性を確保する事業に転換する構造改革を実施し、関連費用50億円を計上することや、工場稼働率の低下や為替等の影響もあり、220億円下方修正いたします。精機事業では、FPD露光装置、半導体露光装置の売上の一部について、顧客都合や台風被災の影響により来期への繰り延べを見込んでおり、売上収益を150億円、営業利益を50億円下方修正いたします。産業機器事業等では、中国等アジア顧客を中心とした設備投資計画が後ろ倒しになっていることから、関連製品の販売計画を見直し、売上収益を100億円、営業利益を20億円下方修正いたします。また、構造改革関連費用の追加計上等により、各セグメントに配賦されない全社損益の予想を30億円下方修正いたします。

これらの前提を踏まえ、2019年8月6日に公表しました連結業績予想を上記のとおり修正いたします。なお、第3四半期以降の為替レートは、1米ドル=105円、1ユーロ=120円を前提としております。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。  
 実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上